

学校名 寝屋川市立第二中学校  
 学年 三年 四組  
 氏名 平井 愛実

題名 税金の使い道

ウィズコロナの時代が始まり、記憶がおぼろげになっってきた。コロナウイルスが日本で認知され始めてから一年半ほどが経った頃、母が濃厚接触者になりました。施設に入居したことから、空き家になった曾祖母の家が近所があり、万が一のことを考へ自宅待機期間中、母はそこで一人暮らしをするようになりました。幸い体調に異変が出ることなく帰った母が驚いたと言っていたの

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

が市による対応の違いです。

私たちが住んでいる寝屋川市では、母が同僚から陽性だったと聞いた三日後に保健所から連絡がきて、その日のうちにPCR検査を受けることができました。さらに配食サービスなどの事を知り、申し込むと数日後から、無料でお昼と晩ご飯の分のお弁当に、朝ご飯のパン、ヨーグルト、ジュースが日替わりで届いたそうです。外出ができない中で、食事が安定して得られたことは、とても助かったと言

中学生の「税」についての作文 原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計
337					627

っていました。  
 ところが、母と同時に濃厚接触者になった  
 母の上司は当時二週間だった自宅待機期間中、  
 連絡は一度もなく、配食サービスどころか、  
 PCR検査すら受けることが出来なかった。そ  
 うです。

この時、私は住んでいる地域によって、こ  
 んにも対応に差があることに驚きました。ま  
 た、税金はみんながより良い暮らしができる  
 ように納めるものですが、それがいつ、どの

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

ように使われるかが、とても重要であると思  
 いました。配食・買い物代行サービスの他、  
 PCR検査体制の充実化、ワクチン接種券の  
 計画的かつ早期の配布、授業のライブ配信の  
 対応など、寝屋川市のコロナ対策はテレビで  
 も取り上げられていたことを覚えています。  
 コロナ対策以外の寝屋川市独自の取り組み  
 を調べると、私を含めどんな世代の人にも関  
 わる問題を、どれも税金の使用を最小限に留  
 めながら解決できるような工夫されているこ

中学生の「税についての作文」原稿用紙

とが分かりました。自分も知っている身近な変化についても書かれています。短期間に実に多くのことが行われていること、その意図についてでも知る事ができました。そして、つい先日、中学校の学校給食無償化が始まり、今年の十月からは〇歳から二歳の第二子以降の保育料が無償化されます。これはサービスを維持するために担税力のある若い世代に寝屋川市を運んでもらうための取り組みです。

寝屋川市をより住みやすい街にするために

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

努力していることを知り、私は寝屋川市のことながらも、好きになりました。私が働くようになったら、みんなが安心して暮らせるようにきちんと納税したいし、自分の暮らしに関わる税金の使い道について、これからも興味を持ちながら暮らしていきたいと思えます。